



ドクターヘリ要請から根室到着まで

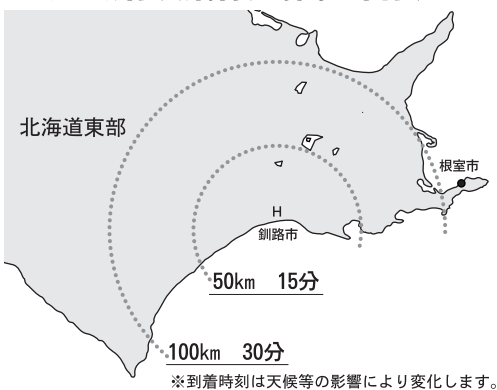
①救急現場から消防署に連絡が入り、出動した救急隊が医師による早期治療を要する症例と判断した場合に、基地病院のドクターヘリ通信センターに連絡し要請します。このとき、医師等にホットラインが伝わります。

②現場には救急車が到着し、傷病者の状況などを通信センターなどに伝えますが、ヘリは医師や看護師を搭乗し根室へ向かっています。

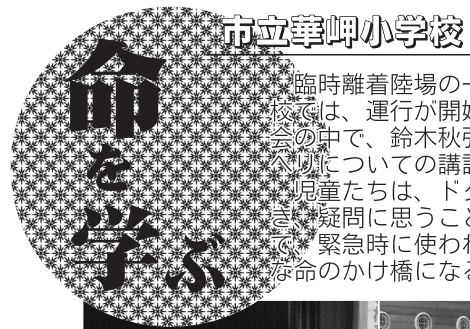
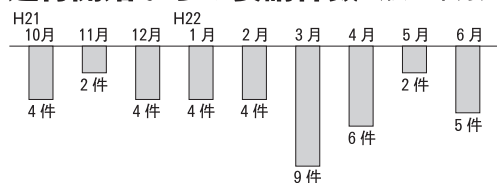
③約30分でヘリは根室に到着します。医師は直ちに患者を診察し、すぐに搭乗させ離陸します。家族などの同乗については原則1名ですが、状況に応じて搭乗できないときもあります。



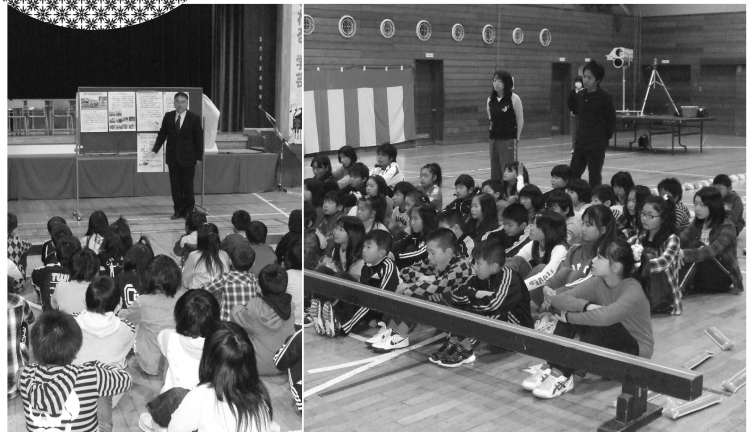
ヘリの所要(飛行)時間の目安



運行開始からの要請件数 (根室市分)



臨時離着陸場の一つとなっている市立華岬小学校では、運行が開始された年の11月24日の全校朝会の中で、鈴木秋弘校長が講師となってドクターヘリについての講話が行われました。児童たちは、ドクターヘリについての説明を聞き、疑問に思うことを一つずつ理解していくことで、緊急時に使われる学校のグラウンドが、大切な命のかけ橋になることを学びました。



ドクターヘリについてのお問い合わせは、市消防本部Tel (24)3164番まで。